

名古屋市いのちの支援広報キャラクター
「うさじ」「ぴよ吉」　©becco

名古屋市「こころの絆創膏セミナー2026」

若者のこころの支援における アクセスギャップとその克服

～本人および周囲への多面的アプローチについて～

司会　古橋　忠晃　（名古屋大学総合保健体育科学センター 准教授）

12/15（火）

会場：名古屋大学
ES総合館１階
ESホール

←会場の地図はこちらから
C2④ が会場です

【実施方法】・対面（定員：先着40名程度）
・オンライン
【対象】学生支援または学校保健等に関わりのある方

【参加申込み・お問い合わせ先】
〈Eメールアドレス〉
kokoroseminar@htc.nagoya-u.ac.jp
以下をご記入の上、メールにてお申し込みください。
・氏名・所属（職名）
・電話番号　・メールアドレス
・情報意見交換会で参加したいテーマ番号＊
（パネリストのテーマ①～③のうち第１・第２希望）

＊情報意見交換会へのご参加は、対面参加者に限定させていただきます。
＊オンライン参加ご希望の場合は、メールにその旨をご明記ください。参加登録完了後、セミナーのURLをメールにてお送りいたします。
＊申込内容に不備な点等ありましたら、事務局から確認のご連絡をさせていただく場合がございます。

【申込締切】 2026年12月8日（火）
【参加費】 無料
〈お問い合わせ先〉052-747-6703

主催　名古屋大学総合保健体育科学センター
名古屋市
共催　名古屋大学学生支援本部

プログラム

10:30-	受付
10:50-11:00	名古屋大学学生支援本部　副本部長　鈴木健一 先生　挨拶
11:00-12:30	講演　**支援につながりにくい若者へ、どう届くか** **―児童精神科領域におけるアウトリーチと多面的支援の実践から―** 株式会社カケミチプロジェクト 代表取締役／児童精神科医 医療法人社団あやなり 理事　**岡琢哉先生** 質疑応答
12:30-13:30	＜休憩＞
13:30-15:00	パネリスト発表 ①黄柳野（つげの）高等学校　入試広報部長　蒲重光先生 **テーマ：「支援」から始まる支援の息苦しさを考える** ②愛知県立西春高等学校　養護教諭　高橋起世美先生 **テーマ：支援の分岐点で私が支えられた言葉** **―現場の“日常”から考える―** ③名古屋学院大学　学生SC　学生相談室　森ゆみ子先生 **テーマ：授業に出席できない学生への支援と限界** **―教員との連携を通して―**
15:00-15:10	＜休憩＞
15:10-15:40	パネルディスカッション
15:40-15:50	＜休憩＞
15:50-16:50	情報意見交換会　＊ご来場者限定＊ ＊パネリストのテーマごとにグループに分かれて情報意見交換を行っていただきます ①黄柳野（つげの）高校　蒲先生　②西春高校　高橋先生 ③名古屋学院大学　森先生
16:50-17:00	名古屋市からの情報提供

＊＊＊本セミナーは、名古屋市　いのちの支援（自殺対策）事業の一環として行われております＊＊＊